

祝 辞

秋風を感じるこの佳き日、秋季卒業式を開催できますことを大変嬉しく思います。本日卒業を迎えられた皆さま、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、保護者の皆さま、関係の皆さまにも、重ねてお祝い申し上げます。これまで宮崎国際大学に対し、多大なご協力とご理解を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

学校法人宮崎学園は、昭和14年、大坪資秀初代理事長によって創設されました。戦前、戦後、経済成長を成し遂げた昭和。バブル崩壊、少子高齢化、グローバル社会へと向かっていった平成。そして、多文化共生が求められる新時代に向けて、新たな価値の創造が求められる令和。このような時代において三時代にわたり多様な変化進展を経て、学校法人宮崎学園は85年の歴史を刻んでいます。

本学は、平成6年、大坪久泰第二代理事長によって創設されました。グローバル社会で活躍する人材育成をめざし、英語によるリベラル・アーツ教育という、極めて先進的な教育に取り組みました。創立20周年を迎えた平成26年には、教育学部を新設しました。令和5年4月には宮崎国際大学大学院が設置され、本年は創立30周年を迎える喜ばしい年となりました。

このような記念すべき年に卒業され、令和の時代を担っていかれる皆さまに本学創設者の大坪久泰先生の言葉をお送りします。

大坪久泰先生は、本年6月12日、92歳でご逝去されました。本学の創立30周年を心待ちにされておりましたが、残念ながら、その慶びの日と一緒に迎えることは叶いませんでした。学生の教育に心を注いでくださった素晴らしい教育者であった大坪久泰先生が遺してくださったものの一つに著書の『大学考』があります。その一節に記された言葉を紹介します。

「私は学生に度々、『志高清遠』ということを書いてきました。志を高くし、清らかに遠い将来のことに思いを致して欲しいという意味であります。私は自分自身のためにも、歳をとってもこの気持ちを持ち続けたいと思っています。」(大学考より)

志を高くし、清らかに遠い将来のことに思いを致して欲しいとの願いが、大坪久泰先生の遺してくださった「志高清遠」という言葉です。

グローバル化が益々進展し、複雑化する中で、今後、歩む道は、平坦な道ではないかもしれません。これが正解という、正しい答えのない問いの中で、自ら考え、自ら決め、行動しなければなりません。自らの目標や将来に向けて、志を高く持ち、挑戦し続け、今できる最善を尽くして誠実に生きていって欲しいと願っています。

結びに、宮崎国際大学での学びを地球社会の発展に貢献されますことを期待し、素晴らしい人生を歩んでいかれることを心から願ひまして理事長祝辞とします。

令和6年9月11日

学校法人宮崎学園理事長 山下 恵子